

科目名	英語 2		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2023 年度 後期	単位数	2
担当教員	若林 達司		
内容および計画	<p>教養基礎科目における英語科目の設計について</p> <p>会津大学短期大学部教養基礎科目の国際コミュニケーションカテゴリーには、英会話やフランス語の他に英語科目が4つ設置されています。まずはそれらの内容の違いを理解した上で英語科目の履修計画を立ててください。</p> <p>「英語Ⅰ」はリーディングスキルを修得するための授業です。簡単に言えば文章読解ですが、単語や熟語の意味を調べ、文の意味を和訳するという英語文章の基礎的作業に留まりません。キーセンテンスを軸にした段落の内容を掴んだり、接続詞マーカールを見抜いたり、事実と意見の部分に分けて理解するなど大学以上で求められる知的な読解術を学びます。</p> <p>「英語Ⅱ」は発展的な文法の授業です。高校や受験で勉強した文法の知識をもとに、精確かつスピーディーな英文解釈ができることを目指して英語の文の構造を理解します。</p> <p>「英語Ⅲ」はリスニングトレーニングを行うための授業です。リスニングの基礎になる発音練習も同時に行いつつ、英語独特の聞き取りにくさを理解します。</p> <p>「英語Ⅳ」は発音練習に特化した授業という位置づけです。学生は英語発音の基本である子音と母音のメカニズムを知り、さらに発展的に音声の脱落や短縮などの日常的に用いられる発音方法を学びます。</p> <p>英語Ⅱ 文法（構文把握を中心に）</p> <p>学生が英語の分を理解する際のひとつの困難は文法（表現上の規則）です。これまでの英語学習で十分に理解できなかった点や、多用される表現方法などを重点的に説明します。また、授業では文法の解説ばかりではなく、発音やリスニングなど語学の4技能を総合的に伸ばすトレーニングを取り入れて理解を深めます。</p>		
1	名詞句について －不定詞句、形式主語、形式目的語		
2	名詞句について －動名詞、疑問視+to 不定詞、whether to ～		
3	名詞節について －that 節、関係代名詞 what の節		
4	名詞節について －疑問詞節、if/whether 節、複合関係詞節		
5	形容詞句について －不定詞句、現在分詞や過去分詞を用いた句		
6	形容詞節について －関係代名詞節		
7	形容詞節について －関係副詞節、強調構文		
8	副詞句について －不定詞句、付帯状況を表す句、前置詞句		
9	副詞句について －分詞構文		
10	副詞節 －接続詞：目的、時、理由、条件、譲歩、様態		
11	副詞節 －接続詞 whenever など、no matter how など		
12	副詞節 －仮定法：過去、過去完了、未来		
13	動詞相当語句の練習と習得 －熟語として知られている動詞句をまとめて練習します		
14	知覚動詞 －知覚動詞を用いた構文の受動態を中心に練習		
15	使役動詞		

	-使役動詞を用いた構文の受動態を中心に練習				
<b>教科書</b>					
	<b>タイトル</b>	<b>著者名</b>	<b>出版社</b>	<b>ISBN</b>	<b>発行年</b>
	Understanding and Using English Syntax	Akihiko Haisa, Gary Bourke	Asahi Press	978-4-255-15651-4	2002
<b>参考書</b>					
<b>成績評価</b>					
	<b>評価方法</b>			<b>割合(%)</b>	
	提出物（授業において課題内容を示します）			70	
	小テスト			30	
<b>学習到達目標</b>	<p>以下の項目についてそれぞれ到達目標を定めます。</p> <p>1-1 名詞句の働きとその用法について説明できる</p> <p>1-2 名詞句を含む文が正しく訳すことができる</p> <p>2-1 形容詞句の働きとその用法について説明できる</p> <p>2-2 形容詞句を含む文が正しく訳すことができる</p> <p>3-1 副詞句の働きとその用法について説明できる</p> <p>3-2 副詞句を含む文が正しく訳すことができる</p> <p>4-1 知覚動詞及び使役動詞の種類と具体的な用例を挙げることができる</p> <p>4-2 地悪動詞及び使役動詞の能動態と受動態を書き換えができる</p> <p>5 テキストに挙げられた動詞相当語句・熟語を含む文を訳すことができる</p>				
<b>先修条件</b>	<p>特にありません。</p> <p>「英語Ⅰ」は前期のみ設定、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」は後期のみ設定しています。各学科の卒業要件に沿って必要な単位数を確保できるように時間割の編成をしてください。</p>				
<b>実務経験</b>					
<b>その他</b>	学生はインターネットをはじめとしたメディアを利用して様々な方法で問題解決に臨んでください。				